

福岡市科学館

マンモス展 その「生命」は蘇るのか 開催 11月23日(土・祝)～2020年2月23日(日・祝)

主催：福岡市科学館、テレビ西日本、西日本新聞社

2005年に開催された「愛・地球博」(185日間)で展示され、約700万人(総来場者2,200万人)が目撃した『ユカギルマンモス』(頭部冷凍標本)が14年の時を経て九州に初上陸します！



「ユカギルマンモス」(頭部冷凍標本)

年代：17,800年前／発掘：2002年／発掘場所：サハ共和国 ウスチ・ヤンスク地区
イリン・ヴィラフチャアンニア川下流地域【特別重要文化財(ロシア連邦)】

開会式 内覧会

2019年11月22日(金)

開会式：16時～

内覧会：16時30分～18時

場所：福岡市科学館(中央区六本松4-2-1)

3階企画展示室

東京・日本科学未来館で開催され好評を博した「マンモス展」が、いよいよ福岡に上陸します。注目の展示は本展のために制作された『ケナガマンモスの鼻』（冷凍標本）！

2013年に完全な形で発掘されたこの『ケナガマンモスの鼻』は、これまで考えられていたマンモスの鼻の形状を覆す発見となった貴重な個体標本です。

そして昨年夏、本展のために発掘現場を訪れた調査隊が発見した、『ケナガマンモスの皮膚』（マンモスの後脚部分）の冷凍標本も世界初公開します。非常に生々しい状態で発掘されたこの皮膚には、マンモスがなぜ極寒の地で生き延びられたのかを解き明かす鍵が隠されています。

このほか、血液や尿が採取されたとニュースになった仔ウマの「フジ」も公開！

本展示のために新たに史上最大級の冷凍展示室を制作し、来場者に貴重な冷凍標本の生々しい様子をご覧ください。

【世界初公開】ケナガマンモスの鼻（冷凍標本）



年代：32,700年前 発掘：2013年9月 発掘場所：サハ共和国 ノボシビルスク諸島 マールイ・リャホフスキー島
【特別重要文化財（ロシア連邦）】

【世界初公開】ケナガマンモスの皮膚（冷凍標本）



年代：31,150年前 発掘：2018年8月
発掘場所：サハ共和国 ベルホヤンスク地区 ユニユゲン
【特別重要文化財（ロシア連邦）】

【世界初公開】仔ウマ「フジ」（冷凍標本）



年代：41,000～42,000年前／発掘：2018年8月
発掘場所：サハ共和国 ベルホヤンスク地区
バタガイカ・クレーター 【特別重要文化財（ロシア連邦）】

開会式には、

展示構成監修 いとうせいこう（作家・クリエイター）

生命科学監修 松本和也（近畿大学大学院部長／生物理工学部教授）

古生物学監修 近藤洋一（野尻湖ナウマンゾウ博物館 館長）

の各監修者も出席の予定です。

ご多用中とは存じますが、ぜひ取材いただきますようお願い申し上げます。

< マンモス展に関するお問い合わせ >

〒810-0044 福岡市中央区六本松4-2-1

福岡市科学館（広報渉外）田中

電話：(092) 731-2525（代表）

e-mail：kouhou@fukuokacity-kagakukan.jp

FAX：(092) 731-2530

福岡市科学館



<http://www.fukuokacity-kagakukan.jp/>